

沖縄県の国際交流・協力事業（令和5年度計画）各分野別 一覧

参考資料2

各分野毎の件数					
項目	主な分野	主な分野 割合	関連分野	関連分野 割合	
人材育成	35	32%	2	15%	
文化・友好・親善	19	17%	2	15%	
経済観光	9	8%	2	15%	
国際協力	15	14%	0	0%	
国際・理解・啓蒙	16	15%	3	23%	
視察・調査・研修	11	10%	3	23%	
基盤整備	0	0%	1	8%	
その他	5	5%	0	0%	
合計(件数)	110		13		

(※複数分野に関連する事業もあるため重複あり)

沖縄県の国際交流・協力事業（令和5年度 計画）

参考資料 2

（主な分野 ● 関連分野 ○）

担当課名	事業名	上段：総事業費 下段：(うち県負担額) 単位：千円	対象国 対象言語圏	期 間	事業目的及び内容	海外出張の有無			関連項目								
						時期	目的	対応者 (出張者)	人材 育成	文化 友好 親善	経済 観光	国際 協力	国際 理解 啓蒙	視察 調査 研修	基礎 整備	その 他	
知事公室 基地対策課	沖縄コレクショナル利 活用促進事業	8,000 (8,000)	米国 ワシントン DC	令和5年4月 1日～ 令和6年3月 31日	沖縄の歴史、政治、社会、経済、文化等の 図書及び資料の充実を図り、沖縄について 容易に研究や学習ができる環境を整備するた め、米ジョージ・ワシントン大学図書館に沖縄 コレクショナルを平成27年3月に設置。 コレクショナルの充実を図り、セミナー等を実施 することで、基地問題を含む様々な分野にお ける沖縄についての理解へ繋げる。	適宜	事業実施状 況、書籍・資 料等収集状況 の確認等	担当者等 担当者等			●				○		
知事公室 基地対策課	沖縄県ワシントン 駐在員活動事業	74,944 (74,944)	米国 ワシントン DC	令和5年4月 1日～ 令和6年3月 31日	沖縄の米軍基地問題の解決を米国政府、連 邦議会などに直接訴えるため、米国ワシント ンD.C.に駐在を配置。米国の安全保障政策や 米軍の戦略などの最新情報を収集し、沖縄県 の基地政策の参考とする。 その他、沖縄への理解に繋げるため、産 業、観光、文化、県系人交流など多分野にお いて情報発信を行う。	適宜	事務所の管理 運営や会計処 理をはじめと する活動状況 確認	担当者等 担当者等			●					●	
知事公室 基地対策課	アジア太平洋地域 平和運携推進事業	26,778 (26,778)	ASEAN諸国	令和5年9月 7日 ～令和6年3 月31日	復帰50年を迎えるにあたり、沖縄の「万国津 梁」を目指してきた歴史や地理的特性を生か して、アジア太平洋地域の緊張緩和と信頼醸 成に取り組む。 ⇒沖縄県が同地域全体の平和と安定の構築 に向けて積極的な役割を担うことにより、地 域の緊張緩和と信頼醸成に寄与し、もって沖 縄県における基地負担の軽減に繋げることを 目指す。	11月～1 月(調 整)	有識者等への ヒアリング	担当者等 担当者等								●	
知事公室 基地対策課	知事訪米	8,687 (8,687)	米国	令和5年4月 1日～ 令和6年3月 31日	本県の米軍基地問題の解決促進を図ることを 目的として、沖縄の米軍基地をめぐる諸問題 について、知事が直接訪米し、米国政府、連 邦議会等関係者並びに米国の政策決定に影 響力のある有識者等に対し、地元の実情を伝 え、米国側の理解と協力を促す。	未定	未定	未定									●

沖縄県の国際交流・協力事業（令和5年度 計画）

参考資料 2

（主な分野 ● 関連分野○）

担当課名	事業名	上段：総事業費 下段：(うち県負担額) 単位：千円	対象国 (対象言語圏)	期間	事業目的及び内容	海外出張の有無		関連項目								
						時期	目的	対応者 (出張者)	人材 育成	文化 友好 親善	経済 観光	国際 協力	国際 理解 啓蒙	視察 調査 研修	基礎 整備	その 他
知事公室	国際災害救援センター(仮称)検討事業			令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	アジア諸国等の大規模災害時の支援活動や台風対策等について、本県の知見、技術の提供や防災意識の啓蒙等により、国内外に貢献することを旨とし、人材派遣や研修実施により期待される具体的な効果を示す資料を作成した上で、国際災害救援センターを機能させる事業スキームの企画立案と試行等を行う。 詳細未定			●								
企画部	ハワイ東西センター連携事業	11,283 (2,257)	米国 (ハワイ)	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	グローバル社会や多様化・複雑化する社会ニーズに対応出来る人材を育成するとともに、アジア太平洋諸国とのネットワーク形成を図るため、「小瀬沖繩教育プログラム」をハワイ東西センターと連携して運営し、同プログラムを活用してハワイ大学またはハワイ東西センターへ留学する県内の社会人等の留学に係る費用を負担する。		未定	科学技術振興課職員	●	○		○				
企画部	沖縄・ハワイ等アジア太平洋島嶼地域連携推進事業	2,100 (2,100)	アジア、太平洋地域の島嶼国及び地域	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	県内研究者をハワイを含むアジア太平洋島嶼地域へ派遣し、同地域の科学技術分野等の研究者と研究交流を実施し、本県における国際的視点をもつ共同研究・産学連携等の推進につなげる。		R5.11月、R6.2月 (予定)	委託先(県内研究者)	○		●					
環境部	グローバル・グリーン・アイランド・サミット(GGIS)事業	1,439 (1,439)	ハワイ、静岡県、他 未定	未定	島しょ地域が直面する環境課題の認識及び持続可能な取組を強化するため、世界の島しょ間におけるネットワークを構築することを目的とする。 ※ 新型コロナウイルス感染症等の影響により、3年間フォーラムが実施されていないため、事務局のハワイ州が今後どのように進めるのか未定。		未定	未定			●					

沖繩県の国際交流・協力事業(令和5年度 計画)

参考資料 2

(主な分野 ● 関連分野 ○)

担当課名	事業名	上段:総事業費 下段:(うち県負担額) 単位:千円	対象国 対象言語圏	期 間	事業目的及び内容	海外出張の有無		関連項目									
						時期	目的	対応者 (出張者)	人材 育成	文化 友好 親善	経済 観光	国際 協力	国際 理解 啓蒙	視察 調査 研修	基盤 整備	その 他	
子ども生活福祉部 女性力・平和推進課	平和創造・発信事業 (沖繩平和賞)	13,416 (13,416)	アジア太平洋 地域	令和5年4月 1日～ 令和6年3月 31日	平和を希求する「沖繩のころ」を国内外に発信し、国際平和の創造に貢献するために創設された沖繩平和賞は、アジア太平洋地域の平和の構築・維持に貢献した個人・団体を顕彰し、その活動を促進する。令和5年度は、第12回沖繩平和賞受賞候補者の詳細調査を行い、シンポジウム及び関連事業を実施する。		●										
子ども生活福祉部 女性力・平和推進課	地雷対策を通じた平和と人間の安全保障の啓蒙・普及のための博物館づくり	今後調整	カンボジア	令和5年9月 ～令和7年8 月予定	新たに建設される「平和博物館」の設置理念に基づき魅力的な展示を備えるための技術や博物館を運営するスタッフの人材育成等を支援する。 JICA草の根技術協力事業「地域活性化型」を活用。	未定	●										
子ども生活福祉部 女性力・平和推進課	「平和への思い」発信・交流・継承事業	26,000 (5,000)	ベトナム、 カンボジア、 韓国、台湾	令和5年10月 ～12月中に予定している。	アジアの戦争経験国の若者と沖繩・広島・長崎の若者が一緒に学び、理解し合うことを通じて、将来の協力関係を築き、いよいよはアジア・太平洋地域の安全と平和の構築に寄与するため、5力国のアジアの若者との共同学習を実施する。※今年度は沖繩に一堂に会し共同学習を実施する予定であるが、コロナの状況によって変更もあり得ると考えている。						●						
農林水産部 農林水産総務課	沖繩台湾技術交流推進事業	1,080 (1,080)	中華民国 (台湾)	通年	沖繩県と中華民国台湾は、農林水産分野において復帰以前から技術研究交流の歴史がある。昭和61年から「琉中農林水産業交流会」が開催され、以降、技術・研究の相互交流が行われていた。今後も引き続き、農林水産業の振興に寄与することを目的として、台湾研究機関への派遣研修を実施し、相互の技術・研究交流を推進する。	各試験研究機関の研究員(農業研究センター等)											●
農林水産部 営農支援課	新規就農者支援事業	1,800 (0)	アメリカ、 オーストラリア、 ア・ヨーロッパ、 パ・その他 の国々	令和5年4月 1日～令和6 年3月31日	海外農業先進諸国における農業実習や学習を通じて、優れた農業技術、経営管理、販売技術等を修得させ、国際社会に精通した我が国農業・農村を担う人材を育成することを目的としている。						●						

沖縄県の国際交流・協力事業(令和5年度計画)

参考資料 2

(主な分野 ● 関連分野 ○)

担当課名	事業名	上段:総事業費 下段:(うち県負担額) 単位:千円	対象国 対象言語圏	期間	事業目的及び内容	海外出張の有無		関連項目								
						時期	目的	対応者 (出張者)	人材 育成	文化 友好 親善	経済 観光	国際 協力	国際 理解 啓蒙	視察 調査 研修	基礎 整備	その 他
農林水産部 水産課	2023年度 JICA課 題別研修(水産)「 島嶼国における水 産業多様化と資源 の持続的利用(1回 目)」への協力	0 (0)	フィジー、モ ルデイク、 マーシャル、 パラオ、サモ ア、ソロモ ン、バヌアツ (8カ国8名)	令和5年6月7 日～7月26日	インド太平洋島嶼国における沿岸水産資源 の持続的管理と地域の生活改善に資するた め、JICAが実施する課題別研修(水産)の講 師派遣依頼等に対応する。			●					●			
農林水産部 水産課	2023年度 JICA課 題別研修(水産)「 島嶼国における水 産業多様化と資源 の持続的利用(2回 目)」への協力	0 (0)	インドネシア、 フィリピン、東 ティモール、セ ントルシア、 カーボベル テ、サンタメ ア、サンシベ、ア ンティグア、セ ントビンセン ト、ドミニカ、 セントキッツ (10カ国10名 割当)	令和5年10月 26日～11月 29日	東南アジア・カリブ・アフリカ島嶼国における 沿岸水産資源の持続的管理と地域の生活改 善に資するため、JICAが実施する課題別研 修(水産)の講師派遣依頼等に対応する。			●					●			
農林水産部 水産課	2023年度 JICA-イ ンドネシア国 難島 における持続的水 産開発プロジェクト (本邦研修:沖縄) への協力	0 (0)	インドネシア (8名)	令和5年9月 25日から7日 間程度	インドネシア海洋水産省が水産物の高付加 価値化や島外への流通促進を目的に進める 総合海洋水産センターの運営管理者及び利 用者の能力向上のため、JICAが実施する本 邦研修のうち、沖縄県の研修・視察の円滑な 実施を図る。			●					●			
農林水産部 水産課	2023年度 JICAモ ルデイク国 ブルー エコノミー推進に向 けた持続的資源利 用推進プロジェクト (本邦研修:沖縄) への協力	0 (0)	モルデイク (10名)	令和5年5月 15日～5月19 日	モルデイク水産セクター開発計画の内容を 遂行するため、日本のマグロ漁業の品質管理 向上技術、カツオ漁業の活餌利用または漁獲 物の付加価値向上に関する先進事例を学ぶ ため、JICAが実施する本邦研修のうち、沖縄 県の研修・視察の円滑な実施を図り、講師派 遣依頼等に対応する。			●					●			
農林水産部 水産課	2023年度 OFCFパ ラオ共和国組合研 修コース(仮)への 協力	0 (0)	パラオ共和 国(9名)	令和5年8～ 10月頃	パラオ沿岸漁業の振興に寄与するため、 OFCF(海外漁業協力財団)が実施する漁業 協同組合事業や鮮魚販売及び取扱等に関す る研修・視察の円滑な実施を図る。			●					●			

沖縄県の国際交流・協力事業(令和5年度 計画)

参考資料 2

(主な分野 ● 関連分野 ○)

担当課名	事業名	上段:総事業費 下段:(うち県負担額) 単位:千円	対象国 対象言語圏	期 間	事業目的及び内容	海外出張の有無		関連項目								
						時期	目的	対応者 (出張者)	人材 育成	文化 友好 親善	経済 観光	国際 協力	国際 理解 啓蒙	視察 調査 研修	基盤 整備	その 他
農林水産部 水産課	パラオEEZ操業継続支援事業	4,780 (4,780)	パラオ共和国	令和5年4月 ～令和6年3月	パラオEEZ海域(排他的経済水域)は、本県のマグロはえ縄漁船の重要な漁場となっている。操業継続に向けて、漁業協議に関する情報収集等を行うとともに、MOUに基づく水産分野WWTの取組として、パラオへ技術者を派遣し、パラオとの友好関係強化を図る。	令和5年8月～10月 (予定)	パラオの要望に応え、資源管理や漁協経営等に関する情報提供と人材・技術交流を行う。	●	●	●	●	●	●	●	●	●
商工労働部 産業政策課	沖縄ハワイクリーンエネルギー協力推進事業	15,000 (3,000)	米国ハワイ州 英語	令和5年4月3日～ 令和6年3月22日	令和3年5月に締結した「ハワイ州と沖縄県のクリーンエネルギー協力に関する覚書」に基づき、ハワイ州と再生可能エネルギーをはじめとするクリーンなエネルギー導入拡大に係る情報交換や技術交流等を行う。	令和5年7月	覚書に基づくタスクフォースミーティングをハワイ州で共同開催するため(毎年度、沖縄県と交互に開催)	委託先及び 商工労働部 長、班長、 担当者	○	○	○	○	○	○	○	○
商工労働部 アジア経済戦略課	沖縄国際物流ハブ活用推進事業	111,026 (22,206)	香港、台湾 シンガポール 中国、タイ、 韓国、その他 地域	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	県産品等の販路拡大を図るため、県内事業者の行う海外販路開拓に向けた支援や日本市・物産展出演等海外販促活動、商品開発、ECでの展開等への補助等を行い、県産品等の輸出拡大に繋げる。	適宜	県産品海外販路開拓支援及び補助事業、イベント等の現地調整・確認。現地企業、団体等へのヒアリング及び連携等に	アジア経済 戦略課職員 等								
商工労働部 アジア経済戦略課	アジア・ビジネス・ネットワーク事業	53,937 (10,787)	指定なし	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	アジアにおけるビジネス・ネットワークを構築するため、以下の取組を行う。 (1)アジア諸地域の政府系機関や経済団体、業界団体、企業等と県内企業等との連携構築を支援する。 (2)海外企業による県内への投資等を促進するための窓口を運営する。	適宜	県内企業の海外進出状況の把握確認及び沖縄への進出を後討する海外企業との調整等	アジア経済 戦略課職員 等								
商工労働部 アジア経済戦略課	海外事務所等管理運営事業	259,616 (259,616)	北京、上海、香港、台北、シンガポール、ソウル、タイ、オーストラリア、フランス、ベトナム、マレーシア、フィリピン	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	海外における県産品の販路拡大、観光客誘致、県内企業の海外展開支援等を目的に、海外事務所を運営するほか、委託駐在員を配置する。	適宜	海外事務所等の会計処理や事務所の管理運営状況、市場調査等	アジア経済 戦略課職員 等								

沖縄県の国際交流・協力事業(令和5年度 計画)

参考資料 2

(主な分野 ● 関連分野○)

担当課名	事業名	上段:総事業費 下段:(うち県負担額) 単位:千円	対象国 対象言語圏	期 間	事業目的及び内容	海外出張の有無		関連項目								
						時期	目的	対応者 (出張者)	人材 育成	文化 友好 親善	経済 観光	国際 協力	国際 理解 啓蒙	視察 調査 研修	基盤 整備	その 他
商工労働部 アジア経済戦略課	「11th 沖縄県大交易会2023」事業費負担金	50,000 (10,000)	アジア圏を 中心にバイ ヤーが参加	リアル商談会:令 和5年11月16、17 日 オンライン商談 会:令和5年8月 1日~令和5年11 月30日	①沖縄県産品の海外販売路拡大 ②沖縄国際物流ハブのPR及び利用促進 ③全国特産品流通拠点のPR及び拡大 ④国際物流拠点形成の促進、アジア向けビジ ネス拠点としてPR	-	-	-	●							
文化観光スポー ツ部 観光政策課	島嶼観光政策 フォーラム事業	1,577 (1,577)	中国、 韓国、 英語、 韓国語 等	通年	アジアを中心とした島嶼地域の首長が一 堂に会い、観光の共通課題の解決方策や協力 可能な施策等について協議することで、相互 協力の推進と構成地域の発展を図ることを目 的とする。 毎年、観光に関するテーマに沿ったフォーラ ムを開催。 R5度は中国海南省において、「第24回ITOP フォーラム」の開催が予定されている(11月)。	8月、11月	8月ワーキン ググループ MTGへの参加 (中国海南省) 11月「第24回 ITOPフォーラ ム」への参加 (中国海南省)	8月 担当(宮城) 通訳(交流 推進課) 11月 知事(予定) 担当(宮城) 通訳(交流 推進課)	●	●						
文化観光スポー ツ部 観光振興課	沖縄観光グローバ ル事業	643,185 (144,630)	台湾、中国、 韓国、 香港、東南 アジア、 欧米豪露	令和5年4月 1日~ 令和6年3月 31日	国際観光地沖縄の基礎的創出を図る ため、航空路線の誘致・拡充と連動してター ゲットとする市場における戦略的なプロモ ーションの展開、各市場におけるBe Okinawa ブランドイメージの浸透、富裕層に特化したプロ モーションを実施する。	11月	台湾での旅行 博出展のため	担当								
文化観光スポー ツ部 MICE推進課	戦略的MICE 誘致促進事業	211,023 (55,023)	台湾、韓国、 中国、 香港、東南ア ジア、 欧米等	令和5年4月1 日~ 令和6年3月 31日	国内外からMICE需要を取り込むため、MICE 誘致・プロモーション活動、MICE開催支援、受 入体制整備等の事業を実施する。 新型コロナウイルスの影響による海外航空路線の状 況を勘案しながら、オンラインの活用も視野に いれて実施する。	11月予 定 時期未 定	商談会へ参加 (スペイン) 商談会へ出展 3カ国 (韓国・シンガ ポール・台湾)	松永 松永	●							
文化観光スポー ツ部 スポーツ振興課	スポーツコンベン ション誘致戦略性 進事業	66,835 (53,468)	欧州・アジア 等	R5.4~R6.3	国際大会誘致やアジア等で開催される大会 の事前合宿を視野にスポーツコンベンション の誘致を進めるため、友人希望市町村と連携 し、スポーツキーパーソン招聘や合宿実証等 に取り組む。	R5.9	スポーツキー パーソン招聘	大城								

沖縄県の国際交流・協力事業（令和5年度 計画）

参考資料 2

（主な分野 ● 関連分野 ○）

担当課名	事業名	上段：総事業費 下段：うち県負担額 単位：千円	対象国 対象言語圏	期 間	事業目的及び内容	海外出張の有無			関連項目							
						時期	目的	対応者 (出張者)	人材 育成	文化 友好 親善	経済 観光	国際 協力	国際 理解 啓蒙	視察 調査 研修	基盤 整備	その 他
文化観光スポーツ部	FIBAバスケットボールワールドカップ2023を契機とした沖縄の子ども達と世界の交流の創出	220,955	フィリピン、オーストラリア 英語	令和5年4月1日～ 令和5年10月31日	沖縄県において令和5年8月25日から9月3日にかけて開催される「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」(以下「FBWC2023」という。)は、FIBA史上初の3ヶ国共同開催(フィリピン、インドネシア、日本)となっている。また、FBWC2023においては、日本代表チームと各地区の予選を勝ち抜いた7ヶ国の海外チームが来沖する。 事前学習として共同開催国(フィリピン、インドネシア)や大会出場国について学びを行い理解を深める。 将来を担う子どもたちがFBWC2023を身近に感じることにより、国際的感覚を養うとともに、大会への関わりを一生に一度の経験として子ども達の心に深く刻み込むことを目的とする。	無	無	無	●	●	●	●	●	●	●	●
スポーツ振興課		(22,096)														
文化観光スポーツ部	FIBAバスケットボールワールドカップ2023を契機とした沖縄の子ども達とトップアスリート等との交流の創出	39,837	調整中 (フィンラン ド、ドイツ、 カーボベル テ、ベネズエ ラ、オースト リア、 ジョージア)	令和5年8月18日～ 令和5年8月22日	沖縄県において令和5年8月25日から9月3日にかけて開催される「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」(以下「FBWC2023」という。)に参加する国に対して事前合宿の誘致を行い、事前合宿にきたチームと沖縄の子ども達の交流を実施する。 それにより、子ども達に未来のトップアスリートを目指すきっかけづくりや様々な分野での世界へのはばたきの機会を創出する。また、交流を通して、スポーツに対する関心、価値を高め、競技力の向上及び地域活性化を推進する。	有	事前合宿誘致に係るプレゼンテーション	池田室長 金城主任 遊佐主事	●	●	●	●	●	●	●	●
文化観光スポーツ部 空手振興課	沖縄県空手振興事業(沖縄空手指導者派遣事業)	17,095 (3,419)	世界各国 (日本含む)	令和5年5月～ 令和6年3月	沖縄空手を保存・継承・発展させるため、空手指導者を国内外に派遣し、指導者及び継承者の育成を図る。 令和5年度は、海外2カ国へ派遣する。	令和5年8月～10月頃	空手指導者の案内業務等	担当課長 又は担当班 長 担当 者	●							
文化観光スポーツ部 空手振興課	沖縄空手世界大会開催事業	42,540 (7,728)	世界各国 (日本含む)	令和5年4月～ 令和6年3月	沖縄空手の保存・継承・発展を図るため、次世代を担う空手愛好家を対象とした世界大会を開催することで、後継者の育成、国内外における参加者間の交流及び「空手発祥の地・沖縄」で平和の武である沖縄空手の歴史・精神性を学ぶ機会を創出する。 令和5年度は、令和6年度に開催する第2回沖縄空手少年少女世界大会の開催準備を行う。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

沖縄県の国際交流・協力事業(令和5年度計画)

参考資料 2

(主な分野● 関連分野○)

担当課名	事業名	上段:総事業費 下段:(うち県負担額) 単位:千円	対象国 対象言語圏	期 間	事業目的及び内容	海外出張の有無			関連項目							
						時期	目的	対応者 (出張者)	人材 育成	文化 友好 親善	経済 観光	国際 協力	国際 理解 啓蒙	視察 調査 研修	基盤 整備	その 他
文化観光スポーツ部 交流推進課	国際ネットワーク事業	1,533 (1,533)	民間大使の いる国 対象言語圏 特になし	R5.4.3- R6.3.31	県が認証する「ウチナー民間大使」の活動を支援する。	なし			●							
文化観光スポーツ部 交流推進課	県内青少年と海外県系人子弟、県外交流地域の青少年等との交流事業やフオロアーアップ事業、ウチナーネットワークを継承するためのプラットフォーム構築を行う。 1 ウチナーユニオンアジアスター事業 2 海邦養秀ネットワーク構築事業 3 次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業 4 友愛交流構築事業	71,392 (71,392)	定めなし	R5.4.3- R6.3.31		適宜	事業実施に必要な場合	担当	●						●	
文化観光スポーツ部 交流推進課	外国青年招致事業	45,423 (45,423)	英語圏 ス ペイン語圏、 中国語圏、 韓国語圏	R5.4.1- R6.3.31	沖縄県の国際交流促進を図るため、外国青年を国際交流員として招致し、沖縄県の諸活動に従事させる。	なし			●		●					
文化観光スポーツ部 交流推進課	海外移住記念事業 費	8,900 (8,900)	定めなし	R54.3-R6.3.31	記念式典等に県三役等が出席し県系人を激励すると共に、県人会活動の活性化、移住先国との関係強化及び世界のウチナーネットワークの強化を図る。	R5.7.26- 7.31	日本ハワイ姉妹都市 株州姉妹都市 サミット出席	知事・知事 秘書・知事 通訳・統括 監・担当	●	●						
文化観光スポーツ部 交流推進課	沖縄福建友好県省 交流事業	542 (542)	中国 中国語	R54.3-R6.3.31	沖縄県と福建省の交流の架け橋となる人材を育成するため、両地域において実務者ミニトレーニング等を行う。	未定		未定	●							
文化観光スポーツ部 交流推進課	おきなわ国際交流 協力人材育成事業	28,066 (5,614)	定めなし	R54.3-R6.2.29	国際協力の必要性を学び、グローバルな視点を持った、将来の本県の国際協力活動に貢献する人材を育成する。	8月2日 ~12日	海外派遣引率	担当	●				●			

沖縄県の国際交流・協力事業(令和5年度計画)

参考資料 2

(主な分野 ● 関連分野 ○)

担当課名	事業名	上段:総事業費 下段:(うち県負担額) 単位:千円	対象国 対象言語圏	期 間	事業目的及び内容	海外出張の有無		関連項目								
						時期	目的	対応者 (出張者)	人材 育成	文化 友好 親善	経済 観光	国際 協力	国際 理解 啓蒙	視察 調査 研修	基盤 整備	その 他
文化観光スポーツ部 交流推進課	国際交流・協力推進事業費	53,720 (19,202)	世界各国 多言語対応	R5.4.3- R6.3.31	国際交流・協力の促進を図るため、(公財)沖縄県国際交流・人材育成財団が実施する国際交流や国際協力事業に対し、補助金を交付する。 在沖外国人の地域社会参画への支援や、沖縄での生活に関する多言語による各種相談業務等の実施、県民の異文化理解や国際理解の促進活動を推進する。	なし		●		●						
文化観光スポーツ部 交流推進課	世界のウチナーンチュネットワーク強化推進事業	41,947 (8,390)	定めなし	R5.4-R6.2.29	世界のウチナーンチュネットワークを強化推進する。	通年	事前調整、実施内容確認等	担当(場合によっては課長等)	●							
文化観光スポーツ部 交流推進課	ウチナーンチュネットワーク次世代継承キャリアハン事業	61,662 (61,662)	定めなし	R5.4-R6.2.29	第7回世界のウチナーンチュ大会の成果を踏まえ、次世代にウチナーンチュネットワークを継承していくため、海外で活躍する県系人の功績をたたえ、海外に、海外県人会へ慰労訪問し、現地のニーズや要望を聴取し、今後の取組に繋げる。加えて、次世代を担う若者ウチナーンチュ等と経済面も含めた交流を実施する。	通年	事前調整、事業の実施	県三役、部三役等	●							
文化観光スポーツ部 文化振興課	地域の文化芸術振興事業	14,000 (14,000)	定めなし	R5.7-R6.2.29	文化発信力の強化、文化交流の拡大、芸術文化の更なる振興、世界で活躍できる人材の育成を目的として、海外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	なし										
土木建築部 都市公園課	水族館等の管理運営	- -	カンボジア	R5.4.1- R6.3.31	沖縄美ら海水族館等の指定管理者である沖縄美ら島財団において、来場困難者向けの普及プログラムの一環として、遠隔授業を実施する。	なし										●

沖縄県の国際交流・協力事業（令和5年度計画）

参考資料 2

（主な分野● 関連分野○）

担当課名	事業名	上段：総事業費 下段：(うち県負担額) 単位：千円	対象国 対象言語圏	期間	事業目的及び内容	海外出張の有無			関連項目							
						時期	目的	対応者 (出張者)	人材 育成	文化 友好 親善	経済 観光	国際 協力	国際 理解 啓蒙	視察 調査 研修	基盤 整備	その 他
教育庁 県立学校教育課	国際性に富む人材 育成留学事業	58,068 (11,614)	アメリカ カナダ	令和5年7月～ 令和6年6月	異文化体験を通して視野を広げることにより、21世紀の振興開発、学術、文化及び国際交流の推進を担う国際性豊かな人材育成を行う。 令和5年度はアメリカへ18名、カナダへ2名を派遣するとともに、令和6年度派遣生の募集・選考も行う。				●		●					
教育庁 県立学校教育課	グローバル・リーダー育成海外短期研修事業 「アメリカ高等教育体験研修」	19,625 (3,925)	アメリカ	令和5年7月30日～8月16日の18日間	アメリカ合衆国モンタナ州(モンタナ州立大学)アメリカの大学生生活を体験させ、高校卒業後の海外大学進学のための準備を支援する。	令和5年7月30日～8月16日の18日間	生徒引率	県立高校職員(2名)	●			●				
教育庁 県立学校教育課	グローバル・リーダー育成海外短期研修事業 「中国教育交流研修」	7,098 (1,420)	中国	令和6年2月予定	中国語を学んでいる高校生を中華人民共和国・上海市等へ派遣し、語学研修や異文化体験、現地高校生との交流を通して、中国への更なる興味関心を高める。	令和6年2月予定	生徒引率	県立高校職員(2名)	●			●				
教育庁 県立学校教育課	グローバル・リーダー育成海外短期研修事業 「専門高校生国外研修」	17,565 (3,513)	オーストラリア	令和5年11月11日～11月20日の10日間	各生徒の専門分野(農、工、商、水産、家庭、福祉、情報等)について研修を実施することにより、グローバルな視点を持った世界で主体的に活躍できるリーダーを育成する基礎作りを図る。	令和5年11月11日～11月20日の10日間	生徒引率	県立高校職員(2名)	●			●				
教育庁 県立学校教育課	グローバル・リーダー育成海外短期研修事業 「沖縄県高校生海外雄飛プログラム」	9,186 (1,837)	アメリカ	令和6年2月11日～25日の15日間	沖縄県高校生をハワイ州に派遣し、学校生活・家庭生活・交流活動等を通して友好親善を図るとともに、先の大戦によって集土化した沖縄、ハワイ州双方の悲惨な状態から現在の復興、そしてこれからの未来について、ハワイ州の高校生と共に学び、考える機会を設けることで、平和を希求する心、自国と他国の歴史や文化について真に尊重でき、21世紀の国際社会に貢献する人材の育成を図る。	令和6年2月11日～25日の15日間	生徒引率	●立学校・教育課職員 ●立高校職員	●			●				

沖縄県の国際交流・協力事業(令和5年度計画)

参考資料 2

(主な分野● 関連分野○)

担当課名	事業名	上段:総事業費 下段:(うち県負担額) 単位:千円	対象国 対象言語圏	期 間	事業目的及び内容	海外出張の有無			関連項目								
						時期	目的	対応者 (出張者)	人材 育成	文化 友好 親善	経済 観光	国際 協力	国際 理解 啓蒙	相 察 調 査 研 修	基 盤 整 備	そ の 他	
教育庁 県立学校教育課	アジア高校生オン ライン国際交流事 業	17,771 (3,554)	台湾 ベトナム フィリピン ネパール インドネシア タイ	令和5年7月 ～10月	時間的・空間的制約を緩和するICT技術の優位性を活か し、「学習空間を学校外に拡張する視点」「社会との連携 の中で学校教育を充実させる視点」「遠隔地との双方向 で協働的な学びの強点」を軸に、沖縄県とアジア の高校生が協働的なオンラインでの学びに取り組む国 際交流プログラムを実施し、多様化・高度化する社会へ 対応し、沖縄・日本・アジアの将来を担う国際性豊かな 人材の育成を図る。	令和5年 11月	交流国の開拓	県立学校教 育課職員(2 名)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
教育庁	外国青年招致事業	218,098 (218,076)	米国、英国、豪 州、中国、カナ ダ、ニュージーラン ド、 アイスランド、 フィリピン、 ジャマイカ、 トリニダード・トバ ゴ、シンガポール	任用の日から 1年間(4回ま で任用の更新 が可能、最大 5年間)	外国語教育の充実・改善を図るとともに、地域レ ベルでの交流推進を図ることを通じて、諸外国との 相互理解を深め、国際化を促進することを目的とし ている。 令和5年度は、県教育委員会で49名を招致し、 県立学校教育課に1名、県立学校に48名を配置。				●	●	●	●	●	●	●	●	●
教育庁 県立学校教育課	沖縄県高校生海外 雄飛プロジェクト	515 (515)	アメリカ	令和5年6月 10日～6月24 日まで	ハワイ州高校生のホームステイ・学校体験の受 入を通して、本県高校生が異文化やそれをもつ 人々を受容し、共生することのできる態度・能力を 養う。 ハワイ州高校生に対し、沖縄の歴史・文化・自然 を体験してもらい、本県に対する理解を促進し、友 好親善を推進することで、海外ネットワークの構築 を図る。 令和5年度受入ハワイ州高校生14名							●					
教育庁	「琉球・沖縄の知と 心」国際発信事業	19,588 (3,918)	米国・ブラジ ル・ペルー・ アルゼンチ ン等 英語、ポルト ガル語、 スペイン語	令和5年4月 1日～ 令和6年3月 31日	世界のウチナーネットワークの継承と発展の ため、海外等で移民関係資料の収集、移民 ルーツ調査、企画展示、講演会等を実施し、 資料の適切な保存と歴史の啓発を図る。	令和5年 7月31日 ～8月19 日の20 日間	(ブラジル) 移民ルーツ調 査、移民関係 資料収集等	主査、会計 年度任用職 員 (2名)		○							
教育庁 文化財課	高校生伝統芸能分 野海外就業体験事 業	18,215 (3,643)	アメリカ合衆 国	令和6年1月 中	郷土芸能に取り組んでいる高校生をハワイへ 派遣し、伝統芸能を活かした観光産業や歴史 的・文化的施設での就業体験をおしして職業 理解を深める。また、現地高校生との伝統芸 能交流や現地県人会との交流を通してネット ワークをつくる。	令和6年 1月中	団員指導・代 表者挨拶	文化財課長 事業担当者 指導者2名 (予定)	●	○	○						

沖縄県の国際交流・協力事業(令和5年度計画)

参考資料2

(主な分野● 関連分野○)

担当課名	事業名	上段:総事業費 下段:(うち県負担額) 単位:千円	対象国 対象言語圏	期 間	事業目的及び内容	海外出張の有無			関連項目							
						時期	目的	対応者 (出張者)	人材 育成	文化 友好 親善	経済 観光	国際 協力	国際 理解 啓蒙	視察 調査 研修	基盤 整備	その他
教育庁 文化財課	中国第一歴史檔案館交流事業	1,288 (1,288)	中華人民共 和国	令和5年11月	歴代宝案編集に係る関連資料を所蔵する中国第一歴史檔案館との連携・協力を目的とする。檔案館職員を招聘し、歴代宝案編集委員会において報告及び意見交換を行う予定。	不定期	シンポジウム参加	教育長他	●	○	○	○	○			
企業局 総務企画課	2023年度 JICA「沖縄連携によるサモア水道公社維持管理能力強化プロジェクトフェーズ2 (CEPSO2)」への協力	0 (0)	サモア	令和5年7月～ 8月	沖縄と地形的、気候的特徴が類似する太平洋島嶼国等に対し、島嶼地域に適合した水道事業の運営及び水資源に関するノウハウの移転等を目的として、短期専門家2名を派遣する。	令和5年7月～8月	水道事業の運営及び水資源に関するノウハウの移転等	企業局 技術系職員 2名	●	●	●	●	●			
企業局 総務企画課	2023年度 JICA「サモア水道公社維持管理能力強化プロジェクト-CP研修」への協力	0 (0)	サモア	令和6年2月 予定	沖縄と地形的、気候的特徴が類似する太平洋島嶼国等に対し、島嶼地域に適合した水道事業の運営及び水資源に関するノウハウの移転等を目的として、JICA研修員の受け入れ研修を実施する。				●				●			